

| | | | | |
|------|----------------------|----------------|---|-----|
| 科目名称 | 人体の構造と機能 I (人体の成り立ち) | 学年学期 | 単位数 | 時間数 |
| | | 第 1 学年前期 | 1 | 30 |
| 担当教員 | 河合 喬文 | 授業に関わる 実務経験 | <input type="checkbox"/> 有 () <input checked="" type="checkbox"/> 無 | |

【1】 授業概要

解剖生理学の理解が疾患の理解につながる重要性を認識する。人体の部位、方向と位置、器官系全体を大まかに把握する。高校の化学・生物学の知識をもとに、生体の構成物質、物質・エネルギー代謝、細胞、組織を理解する。

【2】 学習目標

1. 人体の部位、方向、位置を示す用語が理解できる。
2. 12 の器官系を簡単に説明できる。
3. 内臓の配置を図示できる。
4. 細胞内小器官を図示できる。
5. 人体を構成する化学物質を説明できる。
6. エネルギーの生成と ATP、物質代謝について理解できる。
7. 遺伝子、染色体、細胞の分化を説明できる。
8. 4 つの基本組織について理解する。
9. 解剖生理学の知識を使って、いくつかの疾患の成り立ちを説明できる。

【3】 第 1 看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】 授業計画

| | 内容 | 主な授業形態 |
|----|---------------------|--------|
| 1 | 解剖生理学とは 人体の区分と方向 | 講義 |
| 2 | | |
| 3 | 12 の器官系の概説 (1) | 講義 |
| 4 | | |
| 5 | 12 の器官系の概説 (2) | 講義 |
| 6 | | |
| 7 | 細胞の構造 | 講義 |
| 8 | | |
| 9 | 人体を構成する物質 | 講義 |
| 10 | | |
| 11 | エネルギー・物質代謝 | 講義 |
| 12 | | |
| 13 | 組織学 | 講義 |
| 14 | | |
| 15 | 試験・まとめ | |

【5】 評価方法

筆記試験によって評価する。

【6】 教科書

坂井 建雄: 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 1 解剖生理学 (第 12 版) 医学書院 2026 (電子版)

【7】 参考書

特に指定しないが、高校化学や生物の教科書を適宜復習してほしい。

【8】 受講生へのメッセージ

毎回小テスト(小テストは最終評価に反映しない)を行います。